

## ポスター発表（8Fロビー）

P-01	都市及び都市近郊の森林域における大気中亜硝酸ガスの測定	○智和正明(九州大学大学院農学研究院)、植村友貴(広島大学総合科学部)、大槻恭一(九州大学大学院農学研究院)、佐久川弘(広島大学大学院生物圏科学研究科)
P-02	自動車内の大気汚染流入の実態と高活性炭素繊維を用いた車内浄化技術の検討	○喜多條鮎子・新谷俊二・下原孝章(福岡県保健環境研究所)
P-03	バイパス全線開通によるNO <sub>2</sub> 濃度の変化	○山田親義(市町村土木計画(有))、三谷知世(東京工業高等専門学校)
P-04	歩道の二酸化窒素濃度と歩道環境の歩行者評価	○奥平純子(千葉大学自然科学研究科)
P-05	東京都内大気および自動車排出ガス中ナノ粒子におけるVOCs成分の分析	○吉野彩子(東京都立産業技術研究センター)、木下輝昭・酒井裕香・上野広行・岡村整・横田久司(東京都環境科学研究所)
P-06	無機イオン成分を中心とした桜島火山噴火口周辺における大気エアロゾルの性状特性に関する研究	○青木知雅子・森山紗好・徳丸美幸・馬昌珍(福岡女子大学環境理学科)
P-07	元素成分を中心とした桜島火山噴火口周辺における大気エアロゾルの性状特性に関する研究	徳丸美幸・森山紗好・○青木知雅子・馬昌珍(福岡女子大学環境理学科)、世良耕一郎(岩手医科大学サイクロトロンセンター)
P-08	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - 季節毎の観測結果について -	○紀本英志・三谷洋一(紀本電子工業(株))、大気エアロゾル成分連続測定法開発グループ(任意団体)
P-09	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - 炭化水素成分の日内・季節変動 -	○紀本英志(紀本電子工業(株))、板野泰之(大阪市立環境科学研究所)、近藤正信(紀本電子工業(株))、大気エアロゾル成分連続測定法開発グループ(任意団体)
P-10	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - エアロゾル粒径別重量濃度の日内・季節変動 -	○戸矢崎保雄・預幡哲也(紀本電子工業(株))、大気エアロゾル成分連続測定法開発グループ(任意団体)
P-11	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - 光学的元素炭素成分の測定 -	○紀本英志(紀本電子工業(株))、長谷川就一(国立環境研究所)、大気エアロゾル成分連続測定法開発グループ(任意団体)
P-12	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - エアロゾル粒径別化学成分の日内・季節変動 -	○戸矢崎保雄(紀本電子工業(株))、板野泰之(大阪市立環境科学研究所)、福永明子(紀本電子工業(株))、大気エアロゾル成分連続測定法開発グループ(任意団体)
P-13	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - 黄砂時における大気成分の日内変動 -	○戸矢崎保雄・田熊勝(紀本電子工業(株))、大気エアロゾル成分連続測定法開発グループ(任意団体)
P-14	大阪における大気エアロゾルの総合観測 - 蛍光X線分析による粒径別エアロゾルの多元素成分の日内・季節変動モニタリング -	○米澤周平・保倉明子・中井泉(東京理科大学)、紀本岳志(紀本電子工業(株))、松田賢士・水平学(PANalytical)
P-15	嗅神経を介したディーゼル排気中ナノ粒子の曝露経路の検索	○松井康人・坂井伸光・塩田憲司・高岡昌輝(京都大学)、藤巻秀和(国立環境研究所)、内山巖雄(京都大学)
P-16	肺における神経を介したナノ粒子曝露経路の検索	○小寺恵介・松井康人(京都大学)、坂本浩隆・河田光博(京都府立医科大学)、内山巖雄(京都大学)
P-17	蛍光粒子点鼻投与によるナノ粒子の嗅覚系ニューロンを介した嗅覚中枢への曝露経路の検索	○坂井伸光・松井康人(京都大学)、坂本浩隆・河田光博(京都府立医科大学)、内山巖雄(京都大学)
P-18	Characterization of PM <sub>10</sub> and Related Chemical Compositions during the Episode Days at 3 Outskirts Cities of Seoul Metropolitan Area in Korea	○Tae-Jung Lee(College of Environment&Applied Chemistry and Center for Environmental Studies Kyung Hee University)、Shin-Do Kim(Department of Environmental Engineering University of Seoul)、Seung-Muk Yi(Department of Environmental Health,School of Public Health,Seoul National University)、Dong-Sool Kim(College of Environment&Applied Chemistry and Center for Environmental Studies Kyung Hee University)
P-19	東京及び大阪におけるオゾン濃度の動態 ~週末効果の原因とその比較~	○定永靖宗(大阪府立大学大学院工学研究科)、柴田聡(大阪府立大学工学部)、濱名実・竹中規訓・坂東博(大阪府立大学大学院工学研究科)

P-20	栃木県における高濃度光化学オキシダントの発生と気象条件の関係について	○細井真理・坂本和彦(埼玉大学理工学研究科)
P-21	空気清浄機からのオゾン発生と室内オゾン濃度の推定	○篠崎裕哉・高井淳・井上和也・吉門洋・東野晴行(産業技術総合研究所)
P-22	関東地方におけるオゾンの曝露・ヒト健康リスク評価	○井上和也・篠崎裕哉・吉門洋・東野晴行(産業技術総合研究所)
P-23	関東地方におけるオゾン濃度の前駆物質排出量に対する感度の推定	○井上和也・吉門洋・東野晴行(産業技術総合研究所)
P-24	植物に対するオゾンのリスク評価	○篠崎裕哉・井上和也・東野晴行(産業技術総合研究所)
P-25	大気汚染防止法改正によるVOC削減対策の費用対効果	○岸本充生(産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター)
P-26	Two detection limit models experimentally estimated by a series of low level standards for an ionic compound	○Chang-Jin Ma (Department of Environmental Science, Fukuoka Women's University)、Sung-Boo Choi (Department of Environment, Yong In University)
P-27	環境中の主要な変異・がん原性ニトロアレーンの検出	○渡辺徹志・長谷井友尋・宮川周平・平山晃久(京都薬科大学)
P-28	千葉県での有害大気汚染物質の環境リスク評価手法の検討(2)	○堀本泰秀・内藤季和・井上智博・竹内和俊・中西基晴(千葉県環境研究センター)
P-29	尿中1-ヒドロキシピレングルクロニドをバイオマーカーとする多環芳香族炭化水素の曝露評価	○鳥羽陽・唐寧(金沢大学大学院自然科学研究科)、田村憲治(国立環境研究所)、亀田貴之・早川和一(金沢大学大学院自然科学研究科)
P-30	日本における大気中六価クロム濃度の実測および吸入曝露評価	○小野恭子(産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター)、豊田照子・嶋田真次((株)島津テクノリサーチ)
P-31	セルロースアセテートへの吸着・赤外分光によるB T Xの検出方法の検討	○尾崎裕・紺野東一(城西大学理学部)、内山政弘(国立環境研究所)
P-32	横浜における揮発性有機化合物の分析とその濃度支配要因	○松本久美・水野利一・松本潔・井川学(神奈川大学工学部)
P-33	札幌市内の住宅地における大気浮遊粉じんの長期変動	○酒井茂克・芥川智子・加藤拓紀(北海道環境科学研究センター)、松本寛(化合物安全研究所)
P-34	スギ花粉表面への汚染物質の吸着	○前島裕介(神奈川大学工学部)、石井康一郎(東京都環境科学研究所)、松本潔・井川学(神奈川大学工学部)
P-35	愛媛県松山市におけるPM <sub>2.5</sub> の濃度変化	○小田和洋・高橋司・岡崎友紀代・西川敦・若松伸司(愛媛大学農学部大気環境科学研究室)
P-36	愛媛県松山市におけるオゾンの高濃度出現について	○高橋司・小田和洋・岡崎友紀代・西川敦・若松伸司(愛媛大学農学部大気環境科学研究室)
P-37	愛媛県松山市における大気中各種汚染物質の通年観測	○岡崎友紀代・小田和洋・高橋司・西川敦・若松伸司(愛媛大学農学部大気環境科学研究室)、酒井隆(紀本電子工業(株))
P-38	大気粒子中の高濃度鉄元素の発生源の推定	○中島徹(日本自動車研究所)、箕浦宏明(豊田中央研究所)、溝畑朗(大阪府立大学)
P-39	日本における水銀の大気排出量の推計	○津崎昌東(電力中央研究所環境科学研究所)
P-40	自動車から排出されるガス性分に関する研究	○柏倉桐子(日本自動車研究所)、小家石万里香・岡山紳一郎(日本自動車工業会)
P-41	Development of Hybrid VOCs Recovery System(HVRS)	○Young-Soo Na・Gwang-Ho Lee・Jae-Hyun Jeong・Chang-doeuk An(Segye Chem.Co.Ltd.)、Young-Sam Yoon(Nakdong River Water Environmental Laboratory,National Institute of Environmental Research)
P-42	The Preparation of Adsorbent from Waste Resources fro Removing VOCs and Its Adsorption Characteristics	○Woo-Keun Lee・Hyo-Jin Ban・Eun-Zoo Park・Tae-En Kim・Shin-Do kim(Dept.of Environmental Engineering,University of Seoul)

P-43	粒子状物質の個数濃度と他の要因との関連性	○曹仁秋(東京ダイレック(株)/京都大学エネルギー科学研究科)、牧野国義(東京ダイレック(株)/環境影響研究所)、本間克典(東京ダイレック(株))、東野達・山本浩平(京都大学エネルギー科学研究科)
P-44	オゾン検知紙の開発および紫外線耐性の付与	○三輪貴志・丸尾容子(NTT環境エネルギー研究所)、赤岡邦彦(石原産業)、國岡達也・中村二郎(NTT環境エネルギー研究所)
P-45	多孔質ガラス基板素子による水溶液中の微量ヨウ素検出法の検討	泉克幸・○桃野浄行(東洋大学)、内山政弘(国立環境研究所)、丸尾容子(NTT環境エネルギー研究所)
P-46	同時校正機能内蔵型NOx計、SO <sub>2</sub> 計の開発	○酒井隆・鈴江崇彦・谷口悟・紀本岳志(紀本電子工業(株))
P-47	オゾンスクラバーチェッカー内蔵型オゾン計の開発	○酒井隆・村田周司・鈴江崇彦・谷口悟・紀本岳志(紀本電子工業(株))
P-48	大気中亜硝酸および硝酸の高感度同時測定装置の開発	○桑田喜久・竹中規訓・定永靖宗・坂東博(大阪府立大学大学院工学研究科)
P-49	ガス状硝酸連続測定装置の性能評価:デニューダ法による測定との相互比較	○弓場彬江・定永靖宗・竹中規訓・坂東博(大阪府立大学大学院工学研究科)
P-50	自動交換方式の拡散型サンプラーの試作	○藤田慎一(電力中央研究所)、室崎将史(東京理科大学)
P-51	3-stage濃縮機構およびGC/MS(NCI)を用いたPAN類の分析	○土屋敦裕・古舘肇・山上仰(西川計測(株))、坂野泰之(大阪市立環境科学研究科)、坂東博・竹中規訓(大阪府立大学大学院工学研究科)
P-52	U.S.EPA FRM法に準拠したPM2.5自動計測器の開発	○酒井隆・茂村直樹・袖山恵司・紀本岳志(紀本電子工業(株))
P-53	大気バイオエアロゾル測定に向けたパーティクルカウンターの開発	○山田丸(熊本県立大学環境共生学部)、岩坂泰信(金沢大学フロンティアサイエンス機構)、張代洲(熊本県立大学環境共生学部)、宮澤武志(名古屋大学大学院環境学研究所)、早川和一(金沢大学院自然科学研究科)
P-54	個別土壌粒子に付着した微生物の観察可能性について	○原和崇・張代洲(熊本県立大学環境共生学部)
P-55	平成17年春に天草で採集した黄砂粒子の水溶性・非水溶性成分について	○緒方裕子・張代洲・藤家亘(熊本県立大学環境共生学部)
P-56	大気浮遊粒子およびディーゼル排気粒子中ヒドロキシントロピレンの測定(2):捕集時における分解およびその補正法の検討	○秋山鮎子・亀田貴之・鳥羽陽・唐寧・早川和一(金沢大学大学院自然科学研究科)
P-57	静電分級技術およびレーザーイオン化TOFMSを用いたナノ粒子中化学成分の高感度計測法の開発	○田中伸幸・津崎昌東(電力中央研究所)
P-58	The development of Infrared Optical Depth Index using MTSAT-1R geostationary satellite in the Asian Dust event	○Mee-Ja Kim・Yoonjae Kim・Eun Ha Sohn・Myoung-Hwan Ahn(Global Environment System Research Team,National Institute of Meteorological Research)
P-59	The size-resolved raindrops study performed by a combination of the frozen method and a HPCE technique	○Chang-Jin Ma(Department of Environmental Science, Fukuoka Women's University)、Mikio KASAHARA (Institute of Science and Technology Research, Chubu University)、Susumu TOHNO(Graduate School of Energy Science, Kyoto University)
P-60	PMF(Positive Matrix Factorization)による分類と後退流跡線を用いた日本の降水化学データの解析(2)適用	○村尾直人・山形定・太田幸雄(北海道大学大学院工学研究科)、原宏(東京農工大学農学部)
P-61	東京の降水の経年変化:1992~2005	○蒲生祐輔・原宏(東京農工大学)、古明地哲人(元東京都環境科学研究科)
P-62	丹沢大山における森林樹冠への大気汚染物質の沈着挙動	○安仁屋政宏・古尾谷悟・松本潔・井川学(神奈川大学工学部)
P-63	日本の遠隔地域におけるイオン成分湿性沈着量、濃度の時間トレンド	○瀬戸信也(広島県立総合技術研究所)、原宏(東京農工大学)

P-64	三宅島からのSO <sub>2</sub> による日本各地の降水への影響	○北山響(東京農工大学農学部)、清水高志(東京農工大学農学部/現イオン)、原宏(東京農工大学農学部)
P-65	東シベリア、沿海州地域における降水成分およびガス・粒子状成分濃度(第6報)	○家合浩明(酸性雨研究センター)、大泉毅(新潟県保健環境科学研究所)、島山史郎(東京農工大)、Tamara Khodzher(ロシア科学アカデミー・シベリア支部・湖沼学研究所)
P-66	立山における微量気体成分、エアロゾル粒子個数濃度および降水化学の観測	○渡辺幸一(富山県立大学短期大学部)、朴木英治(富山市科学文化センター)
P-67	新潟巻におけるガスおよび粒子状成分濃度の日変動(第2報)	○大泉毅(新潟県保健環境科学研究所)、伊藤晴佳(ダブリン大学)、武直子(新潟県保健環境科学研究所)、村野健太郎(国立環境研究所)
P-68	隠岐島における二酸化硫黄の乾性沈着量の推定	○佐川竜也・多田納力・草刈崇志(島根県保健環境科学研究所)、瀬戸信也(広島県立総合技術研究所)、原宏(東京農工大学)
P-69	タイとベトナムにおける沈着量と降水量の関係とそのメカニズム	○小野淳一(東京農工大学)、Pojanic Khummongkol(KingMongkut's University of Technology)、原宏(東京農工大学)
P-70	千葉県産の畜産地域における近年のNH <sub>3</sub> ガスと降水中NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> 濃度の上昇傾向について	○横山新紀・押尾敏夫(千葉県環境研究センター)
P-71	千葉県の都市地域におけるNH <sub>3</sub> 大気濃度の特徴	○横山新紀・押尾敏夫(千葉県環境研究センター)
P-72	時系列データによる湿性沈着の詳細解析	○平木隆年・藍川昌秀・英保次郎(兵庫県立健康環境科学研究所)
P-73	隠岐島における二酸化硫黄および粒子状物質の高濃度現象の解析	○荒木卓久・多田納力・田中孝典(島根県保健環境科学研究所)、瀬戸信也(広島県立総合技術研究所)、原宏(東京農工大学)
P-74	奈良県春日大社のスギ林における酸性雨による影響調査	○児玉良太・伊藤和男(大阪府立工業高等専門学校専攻科総合工学システム専攻)
P-75	雪に含まれる多環芳香族炭化水素類の測定および光化学反応	○鍋島愛絵・竹中規訓・定永靖宗・坂東博(大阪府立大学大学院工学研究科)
P-76	堺市における都市表面温度分布の推定	中川文里・○安田龍介・吉田篤正(大阪府立大学大学院工学研究科)
P-77	METI-LISモデルを用いた高濃度観測地点周辺における発生源逆解析ー新潟県燕におけるトリクロロエチレンについてー	○梶原秀夫・高井淳・吉門洋(産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター)
P-78	Forecasting Method of Asian Dust Using WRF 2.2 and CART in Eastern Asia	○Yun-Seob Moon・Seong-Hwan Lee(Department of Environmental Education, Korea National University of Education)
P-79	ディーゼル排気ナノ粒子がグラム陽性菌毒素による肺の炎症反応に及ぼす影響	○山元昭二(国立環境研究所)、武内伸治(北海道立衛生研究所)、藤谷雄二・福島篤・Tin-Tin-Win-Shwe・藤巻秀和(国立環境研究所)
P-80	マウスに対する低濃度トルエン経気道曝露による免疫系への影響	○樺田尚樹・○真鍋龍治(産業医科大学・産業保健学部)、吉田安宏(産業医科大学・医学部・免疫学)、山元昭二・藤巻秀和(国立環境研究所)、嵐谷奎一(産業医科大学・産業保健学部)
P-81	人為発生燃焼粉じん中の多環芳香族炭化水素類の組成と変異原性の比較	○唐寧(金沢大学)、田村憲治(国立環境研究所)、酒井茂克(北海道環境科学センター)、亀田貴之・鳥羽陽・早川和一(金沢大学)
P-82	住民参加を主体とした埼玉県内でのオゾンによるアサガオ被害調査	○三輪誠・小川和雄(埼玉県環境科学国際センター)
P-83	住宅用木材の加工方法と放散するVOCsについて(その2)	○市岡高男(三重県科学技術振興センター保健環境研究部)
P-84	室内環境における材料のVOC長期リスク評価方法	○古賀賢一(福岡県工業技術センターインテリア研究所)
P-85	寒冷地における室内中VOCsの簡易測定と汚染源解明	○伊藤千里・村上舞・川島洋人・笹山一樹・梁瑞録・菊地英治・相馬隆雄(秋田県立大学システム科学技術学部)

P-86	福島県会津地方におけるメタン濃度の変動	○蛭田真史・熊田司・土屋信一郎(福島県会津地方振興局)
P-87	福岡と釜山における黄砂時・非黄砂時の大気エアロゾルの性状特性	○青木知雅子・森山紗好・徳丸美幸・馬昌珍(福岡女子大学環境理学科)
P-88	鹿児島における地上観測映像にみる2007年4月の黄砂現象	○飯野直子(鹿児島大学工学部)
P-89	Spatial Distribution Analysis of Radon Concentration by using GIS in Seoul, Korea	○Seung-A Back・Tae-Jung Lee・Dong-Sool Kim(College of Environment&Applied Chemistry and Center for Environmental Studies in Kyung Hee University)
P-90	屋外一般大気中のアスベスト濃度測定におけるPCM分析法とTEM分析法の比較	○大久保浩一・小沢絢子・伴丈修(アースアプレイザルEFAラボラトリーズ)、エリック エギナ(フォレンジック・アナリティカル社)、小坂浩(大阪大学)
P-91	クリンタイト焼成改質材料のラット気管内投与による呼吸器影響：酸化的DNA損傷評価	○高田礼子・網中雅仁(聖マリアンナ医科大学予防医学)、戸谷忠雄(労働安全衛生総合研究所)、山内博(北里大学医療衛生学部公衆衛生学)、篠原也寸志・森永謙二(労働安全衛生総合研究所)、山下喜世次((株)ノザワマイケミカル事業部)、吉田勝美(聖マリアンナ医科大学予防医学)、神山宣彦(東洋大学経済学部)
P-92	クリンタイト焼成改質材料のラット気管内投与による呼吸器影響：肺内滞留性評価	○戸谷忠雄(労働安全衛生総合研究所)、高田礼子(聖マリアンナ医科大学予防医学)、篠原也寸志・森永謙二(労働安全衛生総合研究所)、山下喜世次((株)ノザワマイケミカル事業部)、山内博(北里大学医療衛生学部公衆衛生学)、網中雅仁・吉田勝美(聖マリアンナ医科大学予防医学)、神山宣彦(東洋大学経済学部)
P-93	Developing Source Profiles for Various Asbestos and Non-Asbestos Fibers	○Young-A Choi・Tae-Jung Lee・Dong-Sool Kim(College of Environment&Applied Chemistry and Center for Environmental Studies Kyung Hee University)